

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Significance of preoperative Inflammation-based Score as a Prognostic Factor in curative-intent pancreatic ductal adenocarcinoma
	研究目的	悪性腫瘍と全身性炎症反応が関連することは、多くの癌種で報告されている。多様な固形癌において好中球/リンパ球比 (NLR)、血小板/リンパ球比 (PLR)、modified Glasgow prognostic score (mGPS) などの炎症性マーカーが予後因子となりうることが報告されている。一方で多くのマーカーで検討されはその評価時期に関しても一定ではない。今回われわれは、術前における Inflammation-based score の有用性について検討を行う。
	研究対象者	2013年1月から2021年2月までに当院で手術を行った切除企図膵癌394例を対象とする。
	研究期間	西暦 2021年 9月 21日 ~ 西暦 2022年 6月 30日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	村川正明
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科(肝胆膵)
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし